

2 政策のポイント

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

展開方向	政策のポイント	
① 一人ひとりの希望がかなう地域の創生	・ほっかいどう応援回会議の結成	25,000千円
② 地域を支える交通体系の構築	・持続的な鉄道網の確立に向けた取組の推進	208,000千円
③ 健やかに暮らせる医療・福祉の充実	・聴覚障がい者情報提供施設の運営支援	56,125千円
④ 安全・安心で強靱な北海道づくり	・被災地の実情を踏まえた胆振東部地震災害からの復旧・復興の取組	19,250千円 [当初予算 281億円]

② 多様性と可能性を活かした確かな未来づくりへの挑戦

展開方向	政策のポイント	
⑤ 地域と産業をけん引する人づくり	・ワンストップセンターの設置など外国人材の受入拡大・共生の促進	46,692千円
⑥ 将来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実	・国際交流の拡大など道立学校における特色ある教育活動の展開	12,000千円
⑦ 彩り豊かな文化・芸術・スポーツの振興	・アイヌ新法の制定を踏まえた新たなアイヌ政策の推進	11,424千円

③ 地域と未来を支える活力ある産業づくりへの挑戦

展開方向	政策のポイント	
⑧ 食と観光の魅力を最大化する北海道ブランドの充実	・魅力ある食の世界展開と更なる高みを目指した観光戦略の推進	(食) 78,489千円 (観光) 104,865千円
⑨ 優位性や独自性を活かした経済・産業の活性化	・食関連産業における先端技術の導入促進	40,000千円
⑩ 魅力ある力強い農林水産業の振興	・ICT技術を活用したスマート農業の推進	33,972千円

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

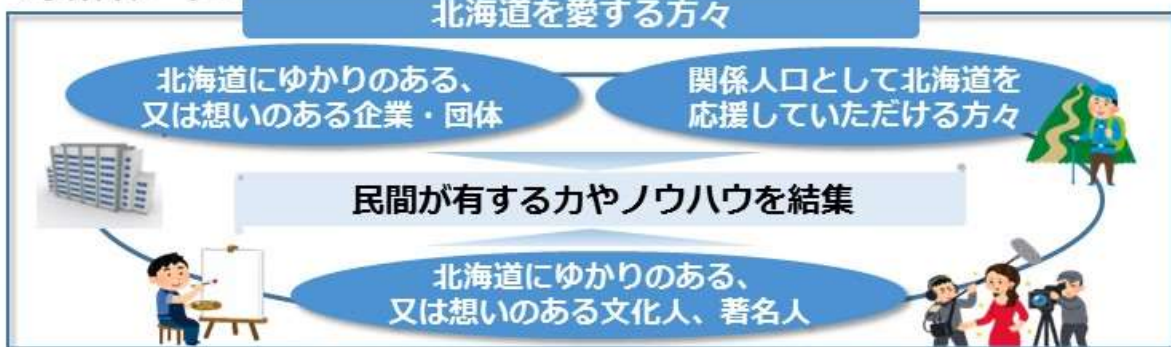
1 一人ひとりの希望がかなう地域の創生

政策のポイント

☑ **ほっかいどう応援団会議の結成** **新** 2定補正額 25,000千円

- 北海道が持つ可能性を最大限に発揮するため、北海道を愛する方々が集い、交流するネットワークを「ほっかいどう応援団会議」として結成し、民間が有する力やノウハウを結集。

<事業イメージ>



- ・「ほっかいどう応援団会議」を通じ、本道の活性化に向けた道内市町村の取組への支援を獲得。

【道と市町村への支援の獲得に向けた取組（予定）】

① 「ほっかいどう応援団」拠点サイトの構築

- ・「道や市町村が応援を求める取組」「応援する企業等の取組事例」を可視化し、一元的に発信
- ・民間が有するノウハウやデータなどを活用しながら、ネットワークの拡大及び更なる支援を獲得



② 「ほっかいどう応援セミナー」の開催等

- ・知事や市町村長のトップセールス（東京、大阪、名古屋）
- ・北海道の魅力を広く道外にアピール



北海道への応援を要請

【想定される応援の手法】

- ・ふるさと納税（個人・企業）
- ・クラウドファンディング等



- ・道産品の販路拡大、PR等

- ・包括連携協定
- ・タイアップ事業等

- ・専門的スキルを活用したボランティア活動等

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

2 地域を支える交通体系の構築

政策のポイント

☑ 持続的な鉄道網の確立に向けた取組の推進

新 2定補正額 208,000千円

○ 平成28年11月、JR北海道単独では維持困難な線区を発表。



これまでの道の取組

- 鉄道ネットワークのあり方の検討
⇒「北海道交通政策総合指針」策定（平成30年3月）
- 沿線市町村をはじめとする地域関係者との協議
- オール北海道による要請活動
- 関係者会議の開催（計5回）
※緊急かつ臨時的な支援の実施に向けた協議を確認
- 全道的な利用促進の取組展開（復興クリスマストレインの運行など）

- 令和2年度にJR北海道に対する支援の根拠となる債務等処理法の期限が到来。
- JRの経営改善に資する取組を進めながら、法改正を見据え、持続的な鉄道網の確立に向けた仕組みの検討を進める。

<整理すべき課題>

- 国と地域の役割分担
- 地域の負担規模
- 地方財政措置 Etc.

区分	取組の概要
緊急かつ臨時的な支援 200,000千円	○ 新たな観光列車の運行に必要な車両整備や、Wi-Fiの設置など駅の利便性向上など維持困難線区における利用促進に資する設備投資に対する支援
全道的な利用促進 8,000千円 (2定現計 28,000千円)	○ 公共交通の利用促進運動の展開や道外・海外観光客の利用拡大など北海道鉄道活性化協議会が行う利用促進等の取組に対する負担
法改正に向けた検討	○ 本道の地域特性や実情を踏まえた支援制度の構築に向けた検討



みんなで乗れば、
未来が変わる。
※2020.10.15より、2020.10.15まで

① 北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦

3 健やかに暮らせる医療・福祉の充実

政策のポイント

☑ 聴覚障がい者情報提供施設の運営支援

新 2定補正額 56,125千円

- 聴覚障がいのある方々の社会参加の促進に向けた施設運営を支援。

《聴覚障がい者情報提供施設の概要》

区分	内容
設置・運営	北海道ろうあ連盟
場所	札幌市中央区北2条西7丁目(かでる2.7) ※各振興局に手話通訳員を配置(14名)
運営内容	・手話通訳者の配置 ・動画製作・貸出 ・遠隔手話サービスの提供 等



4 安全・安心で強靱な北海道づくり

政策のポイント

☑ 被災地の実情を踏まえた胆振東部地震災害からの復旧・復興の取組

新 2定補正額 19,250千円

- 被災地域の企業の商品開発・販路拡大への支援
○ 被災森林の復旧手法の検討

9,250千円
10,000千円

《復旧・復興関連予算の状況》

- 当初予算と2定補正を合わせ、一日も早い復旧・復興の実現に向け取組を推進。



② 多様性と可能性を活かした確かな未来づくりへの挑戦

5 地域と産業をけん引する人づくり

政策のポイント

☑ ワンストップセンターの設置など外国人材の受入拡大・共生の促進

新 2 定補正額 46,692千円

○ 道内の外国人材の増加が見込まれる中、外国人材への生活・就労支援や企業・地域における受入環境の整備を促進。

1 外国人支援

⇒外国人材の生活・就労に関するワンストップセンターの設置 26,605千円

2 企業支援

⇒道内企業等を対象とした外国人材採用相談会の開催 4,910千円

⇒外国人技能実習生等への介護技術等向上のための研修の実施 5,000千円

3 地域支援

⇒外国人材受入に伴う支援策を検討する地域協議会の運営支援 7,717千円

⇒市町村職員等を対象とした研修会の開催 2,460千円



「外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向」(H31.3策定)

目指す姿	取組の基本方向
外国人に選ばれ、働き暮らしやすい北海道	1. 外国人と共に暮らすことの重要性を理解できる環境をつくる
	2. 外国人が安全に安心して暮らせる環境をつくる
	3. 外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる
	4. 業界や企業等における受入環境づくりを支援する
	5. 北海道で働き暮らす魅力を外国人材にPRし、呼び込む

② 多様性と可能性を活かした確かな未来づくりへの挑戦

6 将来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実

政策のポイント

☑ 国際交流の拡大など道立学校における特色ある教育活動の展開

新 2定補正額 12,000千円

○ 道立学校の特色ある教育活動を支援するため、ふるさと納税を活用した取組を推進。

ふるさと
納税の
活用

使
途

- 寄附者が指定した学校の特色ある教育活動
- 国際交流や海外留学など道立学校全体の教育活動

7 彩り豊かな文化・芸術・スポーツの振興

政策のポイント

☑ アイヌ新法の制定を踏まえた新たなアイヌ政策の推進

新 2定補正額 11,424千円

○ アイヌ新法を踏まえた新たなアイヌ施策推進方策の検討等を推進。

【アイヌ新法の新たな政策の体系】



・これまでの政策の視点

・生活向上 ・文化政策

・新たな政策の視点

・国際交流 ・産業・観光振興
・環境保全 ・地域振興・地方創生



③ 地域と未来を支える活力ある産業づくりへの挑戦

8 食と観光の魅力を最大化する北海道ブランドの充実

政策のポイント

☑ 魅力ある食の世界展開と更なる高みを目指した観光戦略の推進

新 2定補正額 (食) 78,489千円
(観光) 104,865千円

<魅力ある食の世界展開の推進>

・道産食品輸出額1,500億円の実現に向けた取組を推進。

《北海道食の輸出拡大戦略(第Ⅱ期)》

(基本戦略の柱)



○ 食の海外展開促進・需要拡大事業費 21,309千円

・中国で開催される「国際輸入博覧会」への道内食関連企業の出展 等



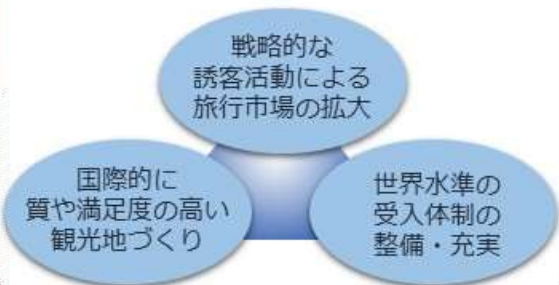
○「国際大会等を契機とした食と観光の魅力発信事業費」など他の新規事業 計 57,180千円

<更なる高みを目指した観光戦略の推進>

・外国人観光客500万人の実現に向けた取組を推進。
・当初予算と2定補正を合わせ、**観光予算全体で21.9億円**を計上。
※10.6億円 ※11.3億円

《北海道観光のくにづくり行動計画》

(施策展開の方向)



○ アドベンチャートラベルワールドサミット誘致促進事業費 6,205千円

・主催者所在地(米シアトル市)でのトップセールスなど実施 等



○「サイクルツーリズム推進事業費」など他の新規事業 計 98,660千円

③ 地域と未来を支える活力ある産業づくりへの挑戦

9 優位性や独自性を活かした経済・産業の活性化

政策のポイント

☑ 食関連産業における先端技術の導入促進

新 2定補正額 40,000千円

- 食品製造業等における先端技術の導入に向けた技術開発や製品化を支援。

《先端技術の開発・導入イメージ》

- ・食品製造工程の自動化につながるロボットハンド等の開発
- ・国際規格に対応した省力化につながる農作業機の開発

生産性向上・競争力の強化



10 魅力ある力強い農林水産業の振興

政策のポイント

☑ ICT技術を活用したスマート農業の推進

新 2定補正額 33,972千円

- 農作業の省力化・生産性の向上に繋がるICT技術の活用を実証。

《ICT技術の活用による農作業の省力化》

- ・ドローンや人工衛星データを用いた牧草生育状況の把握
- ・トラクター自動操舵装置による作業の省力化

農作業の省力化・農業生産性の向上



3つの推進基盤づくり

「北海道・新時代の創造に向けた政策展開」を推進する上で「土台」となる基盤づくりを着実に推進し、政策の効果的・効率的展開を図る。

①北海道を応援してくださる方々の知恵と力の結集

基盤づくりに向けた取組	関連する主な事業（2定現計、千円）
○ほっかいどう応援団会議の結成	・ほっかいどう応援団会議運営事業費 25,000

②政策推進のための骨太で筋肉質な道の体制づくり

基盤づくりに向けた取組	関連する主な事業（2定現計、千円）
○政策提案力、実行力の強化など行財政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進費 10,850 ・職員研修費 201,110 ・ICT利活用推進事業費 11,762

③北海道創生に向けた市町村とのスクラム強化

基盤づくりに向けた取組	関連する主な事業（2定現計、千円）
○政策と知恵を総動員した人口減少問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっかいどう応援団会議運営事業費【再掲】 ・「北海道創生総合戦略」推進事業費 5,547
○市町村の創意ある取組との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域政策推進事業費 265,385 ・地域政策総合推進費 2,603 ・地域づくり総合交付金 4,550,000